

キャラクター名	プレイヤー名
ウィーユ・クライスト	

種族	ラルヴァ	種族特徴	暗視、弱体化、吸血の祝福、忌むべき血		
生まれ	魔法使い	性別	女	年齢	14
冒険者Lv	13	経歴	戦場に置き去りにされた		
経験点	7850		親に捨てられた(正確には逃げ出した) 許せない蛮族がいる		

技	10	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	4	2	8	24	4
体	6	敏捷度	8	1	17	36	6
		筋力	11		13	30	5
心	15	生命力	5	4	27	42	7
		知力	5	2	41	63 + 1	10
		精神力	6	3	50	74	12

技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	7						
ソーサラー	10						
コンジャラー	10						
プリースト/シーン	13						
セージ	13						

戦闘特技			
タフネス	2122p		p
ルーンマスター	1B34p		p
鋭い目	2120p		p
弱点看破	2121p		p
マナセーブ	2123p		p
マナ耐性	3144p		p
魔法拡大/数	226 p		p
魔法誘導	223 p		p
MP軽減/プリースト	1B33p		p
武器習熟/スタッフ	221 p		p
武器習熟II/スタッフ	221 p		p
ダブルキャスト	1B37p		p
魔法拡大/確実化	1B38p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	7	11	13	12
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点		
鎧	マナコート		1	10
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	ファイター	合計値	13	10

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ブラックロッド 魔法の武器 魔法使用時、MP-1	2H	10	1	2d+ 12	12	15	20										
牙	2H	1		2d+ 0	9	0	11										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 <sub>m</sub>	36 <sub>m</sub>	108 <sub>m</sub>	2d+ 13	10	98	真語魔法	10	20			
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP		操霊魔法	10	20			
2d+	23	2d+	0	175		深智魔法	10	20			
						神聖魔法	13	23			

装備品	説明
頭 女神のヴェール	回復魔法がクリティカルするようになる。
耳	
顔 ゴーグル	秋津洲がくれた赤い目を見えなくさせるゴーグル
首 祈りのアミュレット	回復魔法の回復量を+1
背中	
右手 知性の指輪	
腰 不のバックル	ガンによるダメージを精神力で受けれる。成功するとダメージ半分。
足	
その他	

装備品	説明
左手 聖印	

<p>その他メモ</p> <p>吸血鬼になることを約束されたラルヴァで、とある吸血鬼と血が繋がっている。そして、彼女は母に望まれて生まれた子ではないので、母からは嫌悪され、必然的に父である吸血鬼に育てられるといったこともなく、ただただ無意味な日々を送っていた。だがそんな日々は唐突に終わりを告げる。母親がストレスからの病気で死に、家へと人族が大軍を率いて襲ってきたため、戦場と化した場所から脱獄。逃げ出した。もちろんそのことに気が付かれたが、吸血鬼は特に気にした風もなく今の今まで無視されている。さらに、逃げた先で孤児院に孤児かと勘違いされてある程度まで育てられたが、低級妖魔が襲ってきたとき、冒険者が来る前に自分がラルヴァとしての力を使って倒してしまったために、恐れられ、さらに討伐依頼すらも出されて逃亡。生きあてもなく、広い草原ではかかない命つきかけるときに、秋津洲に拾われる。はじめは怖がって、逃げ出そうとしたり、暗殺しようとしたりしたが、秋津洲は笑って回避、同時に頭をなでたりしてきたおかげでかなわないと悟る。それだけでなく、自分をどうしようとするわけでもなく、赤い目を隠すためのゴーグルや、衣服、食べ物などをもらったりして、傷だらけだった心が和らいだ。今ではすっかり秋津洲のことを母親のように思っており、秋津洲の言うことは大体頷いたり、肯定する。本人の本物の父と母が嫌いなため、いないものと自分の中で確定し、そして、将来約束されている吸血鬼化に吐き気を覚えるほどで、今は人族になるための魔導書などがなくと図書館などで模索している。</p>	<p>自動失敗 チェック □□□□⑤ □□□□⑩ □□□□⑱ □□□□⑳ □□□□㉑ □□□□㉒ □□□□㉓ □□□□㉔ □□□□㉕</p>
--	--

